

一 般 科 目

カリキュラム編成方針

一般科目は、実践的技術者として備えるべき、基礎能力の育成、基本的なコミュニケーション能力の育成、忍耐・協調性・責任感・倫理観などの人間性の涵養、リーダーシップ・企画立案能力・実行力の育成を図るために、後期中等教育段階相当の内容の教授に考慮を払いつつ、各専門学科との連携を保ちながら、高等教育レベルの教育水準に移行できるようなカリキュラムを編成している。

具体的には、人文社会の分野における基礎的な知識、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を身につけられるよう、また、専門学科における工学的な知識・技術を学ぶ際の基礎となる知識を修得できるよう、1学年から3学年の間に、国語・社会・数学・理科・英語・体育・芸術など後期中等教育段階に相当する科目を配置している。

さらに第4学年、第5学年では、英語のみは必修科目として継続的に外国語コミュニケーション能力の向上を目指す一方、学生の多様なニーズに応えるため、その他の科目は「教養・倫理」「コミュニケーション」「自然科学」の三分野において選択科目とし、高等教育レベルの教養と倫理観を身につけられるよう、また、コミュニケーション・自然科学に関する能力を一層高められるよう配慮している。